

平成29年12月6日

## 静岡県で初めて 世界最小リードレスペースメーカーの手術を開始

### <概要>

浜松医科大学内科学第三講座 循環器内科の漆田毅医師らは、今年9月に静岡県では初めて、世界最小となるリード線を使わずに心臓内に留置することが可能なペースメーカーのシステムを導入しました。徐脈性不整脈に対する新たな治療として注目されていて、同施設では既に3例の手術に成功しています。従来のペースメーカーより極めて小型であるため患者さんにとって体への負担が少ない手術となり、早期の離床が可能な新しい手術法です。

### <背景>

心臓は、一分間に60回から90回ほど打つのが正常と考えられています。一日では、約10万回も規則正しく拍動しています。その数が少なくなる徐脈性不整脈では、めまいや失神が生じます。原則有効なお薬はないため、ペースメーカーの植え込み手術が必要となります。通常、胸部の鎖骨下あたりの皮下に本体を植え込む手術を行い、長いリード線を介して心臓と本体を連絡させて刺激を送ります。今回導入されたリード線の要らないペースメーカー(以下リードレスペースメーカー)では、胸部の皮膚の切開が不要となり、手術の傷からの感染症やリード断線、静脈閉塞等の合併症のリスクがなくなるため、患者さんに安心感を与え、生活の質の向上が期待できます。

### <実際の手術>

世界最小のリードレスペースメーカーは、メドトロニック社製のマイクラ(Micra TPS)と呼ばれるもので、大きさは1cc・1.75グラム、寿命は約12.5年で金属製でありながらMRI撮影が可能な機種です。このシステムは、カテーテル先端に装着された本体を足の付け根の静脈を経由して直接心室に留置します。手術は、準備を除けば30分から1時間程度で済みます。電池の寿命が来ても追加の留置が可能です。

### <今後の展開>

今回、静岡県で本手術システムが順調に導入されたことにより、ペースメーカー手術の選択の幅が広がることが期待されます。

### <本件に関するお問い合わせ先>

浜松医科大学 内科学第三講座 (〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1)  
漆田毅  
Tel: 053-435-2267 E-mail: [uru@hama-med.ac.jp](mailto:uru@hama-med.ac.jp)